

自己評価及び学校関係者評価委員評価

学校名	坂戸市立勝呂小学校
実施日	平成27年2月20日

・「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。
 ・「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めているかを明確にしてください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者 評価委員評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組む体制を作っている。	B	○ 校長先生が出して下さる経営ビジョンや学級経営の視点はとてもわかりやすく助かります。	A	○ 特色ある学校づくりに取り組んでいると思います。 ○ 学校教育目標が子ども主体の学校づくりのもとに作られている。 ○ 経営ビジョンが簡潔、明瞭に示されている。 ○ 校長先生のビジョンはよく伝わってきます。
	2	学校は、計画・実行・評価・改善のサイクルのもと、分掌経営を進めている。	B		A	○ 取り組み等に対する評価の機会が定期的に設けられている。 ○ 学校経営方針が分かりやすく、かつ現在にマッチしている。
	3	学校は、自己指導力の育成を目指して組織的に生徒指導に取り組んでいる。	B	○ 決まりを把握していない教員もおり自覚していくことが必要。	A	○ 朝のあいさつ活動等が実施されており、地域との連携に向けた取り組みがなされている。
	4	学校は、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	A		A	○ 事故発生時の対応など危機管理体制が整えられていると思います。 ○ 子どもの「命」のことに関し、不意の事故、トラブルに即対応できる体制ができています。 ○ 避難訓練や不審者対策、交通安全教室が実施されている。また勝呂小メールが配信されている。
教育課程・学習	5	学校は学校教育目標の具体化を目指し、教育課程を編成・実施・評価し、教育活動の充実改善を図っている。	B	○ 年間計画への書き加えがなかなかできなかった。	A	○ 毎月の学校だより充実した内容となっている。 ○ 学年だより等はとてもわかりやすいです。
	6	学校はそれぞれの学年で「読む」「書く」「計算」の達成目標などを踏まえて、指導や取り組みを工夫している。	B	○ 年間計画の見直しまでいかなかった。 ○ 個々への指導の方法や工夫をもっと考えなくてはと思う。ロングの昼休みもでき少数も入っているのでもう指導の場として放課後を何とか利用できないか？	B	○ 数値目標が達成されていると思います。 ○ 夏休みに算数、国語研修が実施されている。 ○ 詩の暗唱や標語の掲示から指導方針が見えてきてとてもよいと思います。 ○ 平均より極端にマイナスの児童に対しては別途方法を考え対応していく必要がある。(げんき教室での「音読」や「計算カード」等でも個人差が大きい。)
	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて指導体制や授業改善に努めている。	B	○ 機器を手軽に利用できるよう学習したい(設置や方法) ○ 少数や個に応じた授業は実施しているが年間計画に記載していない。	B	○ 学力向上に努力していると思います。 ○ 教室にレポートや観察日記があり、とてもよいと思います。
	8	学校は豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	○ 心のノートではなく「わたしたちの道徳」だが使用方法は示すことができなかったがなかなか利用されていないのではと思う。	B	○ 道徳の授業を見させていただきましたが子どもたちの心には大切な授業でとてもよいと思います。 ○ 一時期道徳が重要視されていなかった道徳が大切な時代になってきて、子どもの時からあいさつ、愛情、思いやり等の大切さを学ぶ必要がある。
	9	学校は、「規律ある態度」の達成目標を踏まえて、指導や取組を工夫している。	B	○ 指導しているが不十分である。引き続きその都度指導をしていく必要がある。 ○ 低学年での言葉遣いが、先生に対しても友達と同様なのが気になる。学年に関係なく指導を徹底したい。	B	○ あいさつのない児童が見受けられるとの指摘があるが、私自身はあいさつをする児童が他校に比べ多いと感じている。あいさつ活動等の効果が出てきていると思います。 ○ 学校側があいさつに力を入れてくれることは子どもたちにも伝わるといいます。これからも継続して欲しいです。 ○ 学年によって異なると思いますが比較的1、2年生は態度がよい方だと思います。 ○ あいさつが上級生にいくにつれされていない。言葉遣いも流行語に感化されている。すべてに指導が甘い。
	10	学校は、児童生徒一人一人を大切にしたい学校経営を行っている。	B	○ 自分の言葉遣いに反省。	B	○ 月1回の教育相談日が設けられ、人権作文、標語作りも行われている。 ○ 目標としては重要なことで忘れてはならないが、一人一人の心の奥底に入っていくにはやはり家庭しかないと思う。 ○ 一人一人に確実に応えることは難しいことと思います。(ご努力されていることは理解できます。) ○ 言葉遣いなどは学校だけでなく家庭でも教える様に保護者に伝える。保護者の言葉遣いが悪いのが目立つ。

	11	学校は、「健康・体力」の目標達成を踏まえて、指導や取組を工夫している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの個人データ、評価をできれば学校保健委員会前に配布できるとよいと思います。 ○ 「ボール投げ」については練習コーナー等を作ると遊びの中でも続けられる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月3回の体育朝会があり体力向上のために取り組んでいる。シャトルランなどは結果として出ている。 ○ ボール投げなど弱点内容をソフトボールを採用していることを確認、体力向上に努めている。 ○ 体力向上にはスポーツを通して工夫指導されている。 ○ 「ボール投げ」等体力データを基に取り組んでいच्छることはすばらしいと思います。 ○ 地域の農家と連携し、米の収穫などを児童が行っている。
	12	学校は、ノーマライゼーションの考えを踏まえて、特別指導教育の充実を図っている。	B		A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の支援計画は見えていませんが普段の関わり方から見て判断いたしました。 ○ ノーマライゼーションとは？
資質の向上	13	学校は教職員の服務規律の確保に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故防止の研修やマニュアル等の見直しがほとんどできていない。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故防止のため教職員が登下校時公道にて指導を行っている。 ○ 先生たちの自己評価を参照しています。
	14	学校は教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を振り返って、出張に行かせていただいた報告をもっとしっかりやるべきだったと思っている。 ○ 課題研修は全員がよく取り組んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもからも先生たちが研修に行っていることを聞くと取り組んでいる姿が見えてきます。
学習環境	15	学校は、環境美化に努め、温かさと潤いのある学ぶ環境づくりを組織的に進めている。	B		B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月1回の安全点検や化学物質、刃物等の危険物の管理が適正になされている。 ○ 清掃用具(モップ、ほうき等)そのものが汚れている。またその保管が乱雑、ゴミの未処分(体育館・ステージ脇) ○ ◎であるが一輪車置き場など屋根があると長持ちすると思います。 ○ 全体的にきれいにされています。 ○ 掲示物等はあたたかさを感じながら見えています。
	16	学校は安全で機能的な教育環境づくりを進めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ エアコンが入りましたが、設定温度で使用すると夏は暑かったです。冬はこれからどうなるか分かりませんが、子どもたちの環境を整えるという意味で設置したのだと思うので設定温度を再考していただきたいです。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな事故の事例等はないので、整備が適切にされていると思います。 ○ 教員の駐車場の防犯灯が1カ所故障している。 ○ 花壇等整備されています。季節ごとの花は子どもたちにも良い心の教育と思います。
	17	学校は、教材・備品を充実・整備し、学習環境の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ かなり古くなっていて家庭科室の水場の排水や水道、図工室の椅子等修理が必要なところが出てきていると思います。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育館で2S(整理・整頓)、断捨離(要・不要)が不十分である。また体育館入り口の両サイドの用具置き場やボールの置き場も同様。 ○ 図書館はとても見やすいので良いと思います。特に黒板の情報は素晴らしいです。 ○ 教材・備品については在庫、廃棄、購入等ルール化されていると思う。
家庭・地域との連携	18	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページについては1人や2人で作っていくのでは大変なので、各学年1人ずつ出て、分担していったらどうでしょうか？ ○ HP関連は担任には難しい。更新を求められても厳しいと思う。 ○ ホームページの更新がどの程度行われているかよく分からない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度ホームページの更新がされていない状態が見られましたので、今後年度内、数回の更新を期待します。 ○ 家庭地域の関連は大事。 ○ 学校だよりは町内の回覧板でも活用されている。 ○ ホームページはもっと明るく、引きつけるような工夫があると良いと思います。 ○ 授業参観、学校評議委員会、土曜日授業が定期的に行われている。
	19	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校応援団の方から遠慮なく声をかけていただきたいという声をいただいた。 ○ 地域人材は授業でよく活用している 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との関わりを深めようという姿勢は見えています。 ○ 学校評議委員会、通学路安全調査報告会等他校にはない取り組みがなされ、内容も充実している。 ○ 学校応援団として地域の人材活用がスムーズに活用され、実績をあげている。
	20	学校は、家庭・地域社会と連携協力し、子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の重要性や方法について学校から資料を出して学校全体で取り組んでいってほしいと思う。(生活習慣に関しても) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯パトロールが効果を上げていると思います。 ○ 学校のメールは大変よく便利。今後も早く確実な情報発信を期待しています。 ○ 宿題や音読等で学校と家庭が目に見えないところで結ばれている。
小中一貫教育	21	学校は、小中一貫教育(連携)の視点に立った教育活動を推進している。	C	<ul style="list-style-type: none"> ○ よく分からない ○ 課題あります。 ○ 中学側に引き継ぎをしても把握されておらず、形骸化している。中学側に改善を促したい。 ○ 幼小、小中、共に一貫教育の推進はまだまだだと思われる。市でモデルがあると目標になってよいのでは。 ○ 生徒指導や児童生徒の実態についての情報交換だけでなく教科指導でもできるとよい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方の自己評価を参照して評価をしています。 ○ 小中一貫の生徒指導のきまりが先生方にもっと伝わるといいのかもしれない。